

生活交通に関するニーズ把握調査の結果

結果概要

平成28年11月

目次

I. 調査の実施概要	1
1. 調査の目的	1
2. ニーズ把握調査の実施概要	1
II. 市内の生活交通に関するニーズ等（調査結果）	3
1. 市民の交通行動	3
(1) 通勤・通学の交通行動	3
(2) 買物や通院目的の交通行動	5
2. 交通環境の満足度	7
3. 各交通モードの満足度など	9
(1) JR	9
(2) 井原鉄道 ※福山市民にのみ設問	11
(3) 路線バス	12
(4) 乗合タクシー	16
(5) 航路（走島航路，笠岡諸島航路）	19
4. 移動が不便な行き先	21
5. 公共交通の取組について	24
6. 高齢者の移動支援のアイデアなど	26

I. 調査の実施概要

1. 調査の目的

福山市及び笠岡市の市民，バス利用等にアンケート調査を実施し，市内を運行（運航）する地域公共交通の利用状況や関連する問題，ニーズを把握する。

2. ニーズ把握調査の実施概要

表 調査の実施概要

対 象	アンケート調査概要										
市 民	<p>市民（15歳以上の市内居住者）を対象として，地域公共交通の利用実態，満足度，要望等を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■配布回収方法：郵送配布／郵送回収 ■配布件数：5,500件 [福山市：4,500件，笠岡市：1,000件] ■有効回収件数（率） 2,546件（46.3%） [福山市：2,077件（46.2%），笠岡市：469件（46.9%）] 										
路線バス利用者	<p>路線バスの利用者を対象として，利用実態，満足度や問題点等を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■配布回収方法：福山駅前，笠岡駅前のバス乗り場において，手渡し配布／郵送回収 ■配布件数：1,911部 [福山駅：1,700部，笠岡駅：211部] ■有効回収件数（率）：628件（32.9%） [福山市：555件（32.6%），笠岡市：73件（34.6%）] 										
乗合タクシー利用者	<p>乗合タクシー（3地域）利用者を対象として，利用者の属性や満足度，問題点などを把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■配布回収方法：車内で乗務員が手渡し配布／郵送回収 ■有効回収件数： <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">[地域名]</th> <th style="text-align: right;">[回収件数]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福山市 竹尋学区</td> <td style="text-align: right;">12件</td> </tr> <tr> <td>福山市 中条学区</td> <td style="text-align: right;">7件</td> </tr> <tr> <td>笠岡市 大島地区</td> <td style="text-align: right;">18件</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">全体 37件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※なお，笠岡市尾坂地区は，配布期間（約1ヶ月）における運行便数が4便と少なく，回収数がゼロであったため分析対象外とする。</p>	[地域名]	[回収件数]	福山市 竹尋学区	12件	福山市 中条学区	7件	笠岡市 大島地区	18件		全体 37件
[地域名]	[回収件数]										
福山市 竹尋学区	12件										
福山市 中条学区	7件										
笠岡市 大島地区	18件										
	全体 37件										
民生委員児童委員	<p>民生委員児童委員（民協区会長，理事）を対象として，地域の高齢者における生活移動の状況や問題などを把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■配布回収方法：民生委員児童委員の会議の場で配布／郵送回収 ■配布件数：50件（福山市：34件，笠岡市：16件） ■有効回収件数（率）：40件（80.0%） [福山市：29件（85.3%），笠岡市：11件（68.8%）] 										

[市民アンケート・路線バス利用者アンケート回答者の属性]

【市民アンケート】

	福山市民			笠岡市民		
	項目	件	%	項目	件	%
性別	男性	835	40.2	男性	194	41.4
	女性	1,206	58.1	女性	267	56.9
	不明・無回答	36	1.7	不明・無回答	8	1.7
年齢	15～19歳	71	3.4	15～19歳	10	2.1
	20～39歳	331	15.9	20～39歳	44	9.4
	40～59歳	576	27.7	40～59歳	126	26.9
	60歳代	488	23.5	60歳代	126	26.9
	70歳代	405	19.5	70歳代	85	18.1
	80歳以上	188	9.1	80歳以上	72	15.4
	不明・無回答	18	0.9	不明・無回答	6	1.3
	居住地	西部地域	245	11.8	西部地域	168
	中央地域	211	10.2	中央地域	37	7.9
	東部地域	544	26.2	島しょ部地域	22	4.7
	北東地域	232	11.2	南部地域	135	28.8
	島しょ部地域	11	0.5	北部地域	107	22.8
	南部地域	287	13.8			
	北部地域	547	26.3			
利用可能な手段 ※複数回答	自動車（自分で運転）	1,539	74.1	自動車（自分で運転）	325	69.3
	自動車（同居者による送迎）	339	16.3	自動車（同居者による送迎）	91	19.4
	自動車（同居者以外の方による送迎）	63	3.0	自動車（同居者以外の方による送迎）	22	4.7
	バイク・原付	121	5.8	バイク・原付	47	10.0
	自転車	479	23.1	自転車	77	16.4
	電動カート・シニアカー	10	0.5	電動カート・シニアカー	3	0.6
	自由に使える手段はない	99	4.8	自由に使える手段はない	28	6.0
	その他	1	0.0	その他	0	0.0
	不明・無回答	37	1.8	不明・無回答	12	2.6
総数	—	2,077	100.0	—	469	100.0

【路線バス利用者アンケート】

	福山駅配布			笠岡駅配布		
	項目	件	%	項目	件	%
性別	男性	151	27.2	男性	27	37.0
	女性	387	69.7	女性	43	58.9
	不明・無回答	17	3.1	不明・無回答	3	4.1
年齢	～19歳	43	7.7	～19歳	16	21.9
	20～39歳	70	12.6	20～39歳	11	15.1
	40～59歳	184	33.2	40～59歳	19	26.0
	60歳代	111	20.0	60歳代	5	6.8
	70歳代	95	17.1	70歳代	10	13.7
	80歳以上	44	7.9	80歳以上	9	12.3
	不明・無回答	8	1.4	不明・無回答	3	4.1
	居住地	福山市内	433	78.0	笠岡市内	38
	笠岡市内	4	0.7	福山市内	3	4.1
	その他	96	17.3	その他	25	34.2
	不明・無回答	22	4.0	不明・無回答	7	9.6
総数	—	555	100.0	—	73	100.0

II. 市内の生活交通に関するニーズ等（調査結果）

1. 市民の交通行動

■市民アンケート結果 より

(1) 通勤・通学の交通行動

①通勤・通学先

<通勤目的>

- 両市民ともに自市内への通勤が最も多く、福山市では約8割、笠岡市では約45%を占める。
- 笠岡市民では、福山市への通勤する人が2割を上回る。

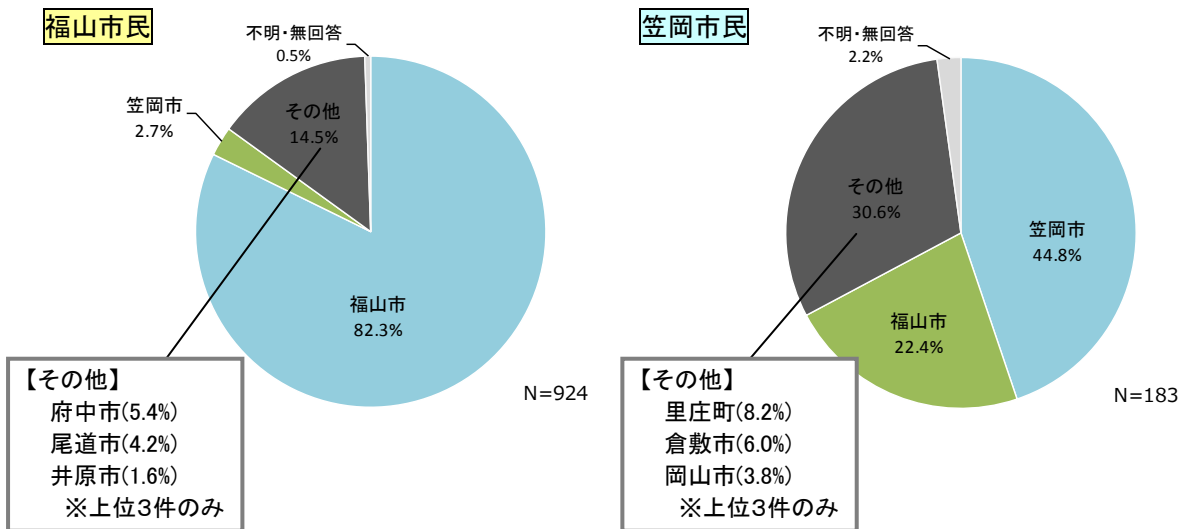


図 市民の通勤先

<通学目的>

- サンプル数が少ないものの、福山市民の通学先は通勤に比べて市外に出る割合が高く、笠岡市民では、逆に市内の割合が高い。

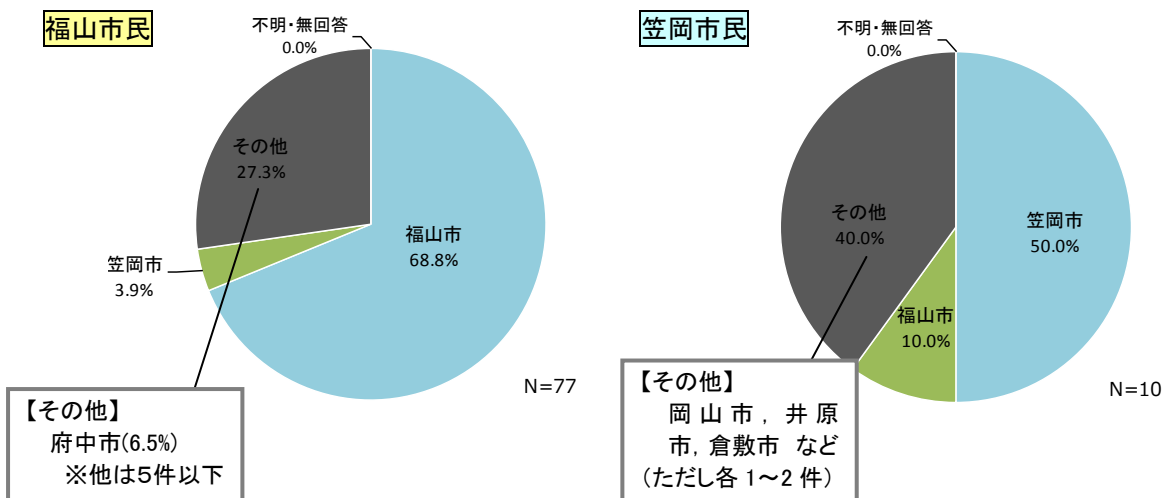


図 市民の通学先

②通勤・通学の交通手段

○両市民とも、通勤では、「自家用車（自分で運転）」が8割を超えるなど大多数を占めている。

○通学では、福山市民では「JR」や「自転車」が約3割を占めて多い。一方、笠岡市民では「自転車」が半数を占め、次いで「JR」が約3割と続く。

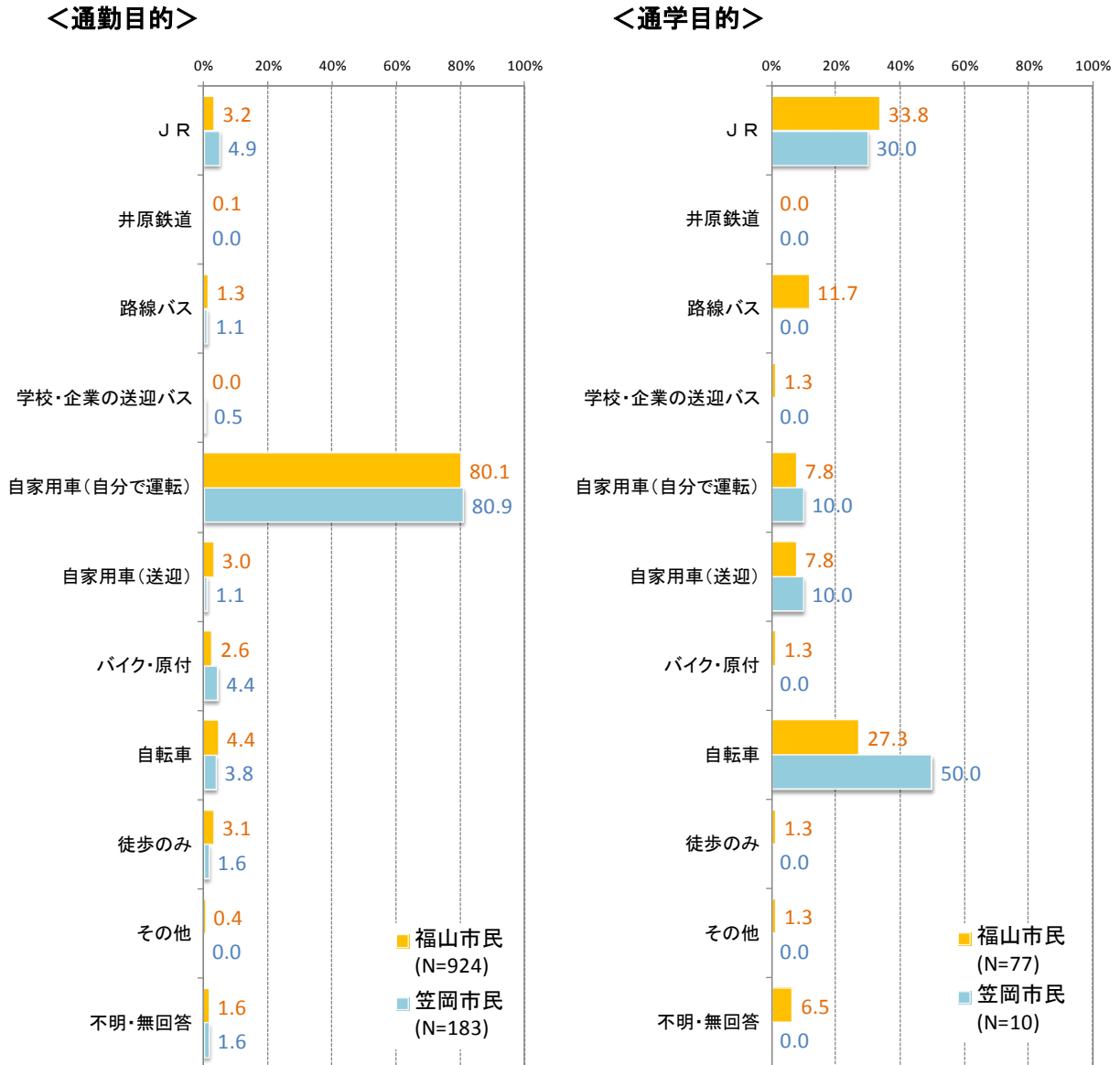


図 通勤・通学の交通手段

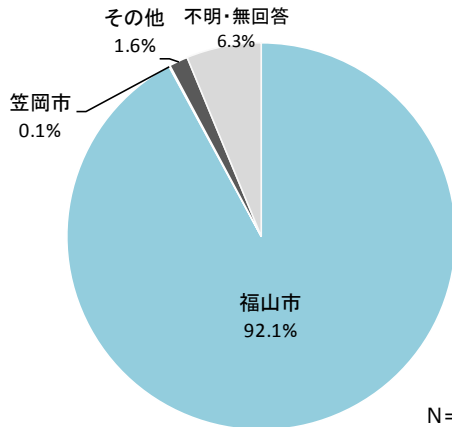
(2) 買物や通院目的の交通行動

①最も多く訪れる買物や通院先

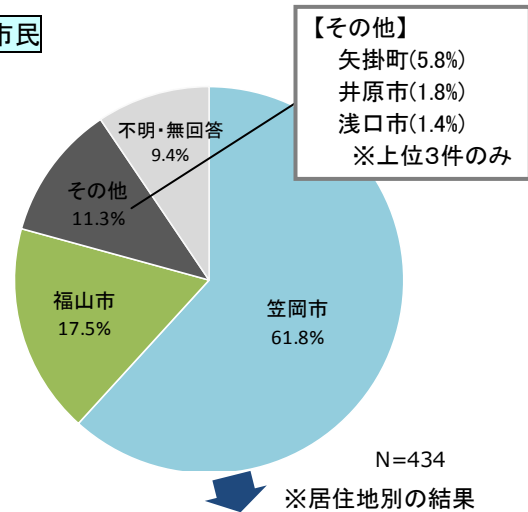
<買物目的>

- 福山市民では9割を超える市民が、市内で買物を行っている。
- 笠岡市では、市内で買物する市民が約6割であり、福山市内で買物する市民も約2割と多い。
地域別では、笠岡市の西部地域において福山市内での買物が多く、約44%を占める。

福山市民



笠岡市民

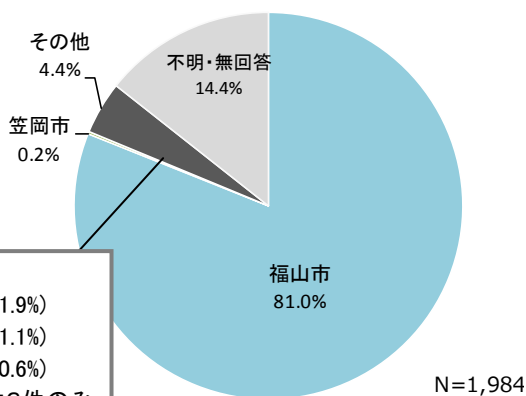


		合計	居住地別			不明・無回答	
			笠岡市	福山市	その他		
総数	実数	434	268	76	49	41	
	%	100.0%	61.8%	17.5%	11.3%	9.4%	
居住地別	西部地域	実数	152	68	67	2	15
		%	100.0%	44.7%	44.1%	1.3%	9.9%
	中央地域	実数	37	33	1	1	2
		%	100.0%	89.2%	2.7%	2.7%	5.4%
	島しょ部地域	実数	18	14	0	0	4
		%	100.0%	77.8%	0.0%	0.0%	22.2%
	南部地域	実数	126	107	4	4	11
		%	100.0%	84.9%	3.2%	3.2%	8.7%
北部地域	実数	101	46	4	42	9	
	%	100.0%	45.5%	4.0%	41.6%	8.9%	

<通院目的>

- 福山市民では、8割を超える多くの市民が市内の病院等に通院している。
- 笠岡市民では、約7割が市内の病院等への通院であり、また約1割が福山市内に通院する。

福山市民



笠岡市民

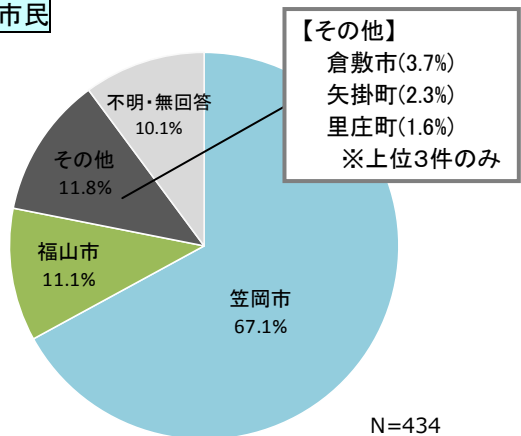


図 最も多く訪れる買物先・通院先の所在地

②買物先や通院先までの交通手段

○買物、通院ともに、「自家用車（自分で運転）」の利用が最も多く、6～7割近くを占める。

○その他の手段では、福山市民で「自転車」や「徒歩のみ」が笠岡市に比べて多く、一方で笠岡市民では「自家用車（送迎）」や「バイク・原付き」が福山市に比べて多いのが特徴的である。

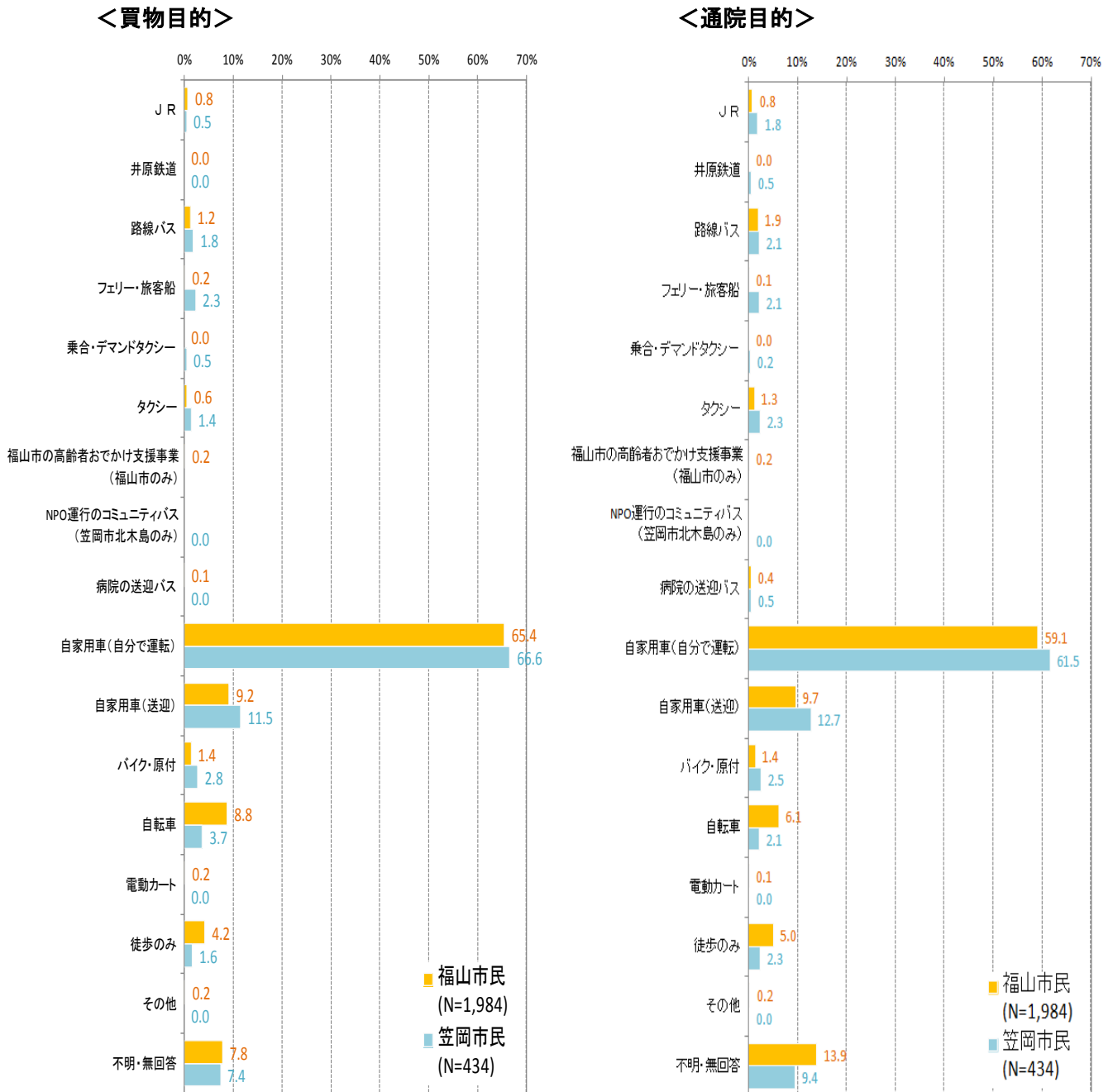


図 買物先・通院先までの交通手段

2. 交通環境の満足度

■市民アンケート結果 より

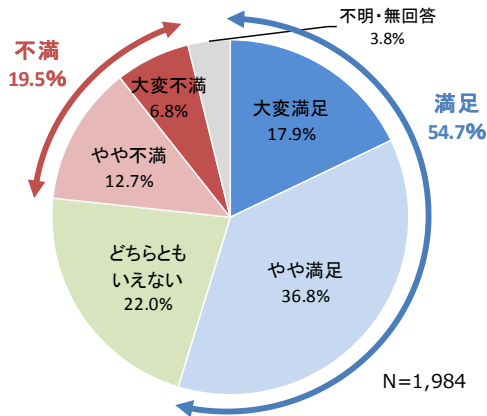
①交通環境の満足度

○福山市民では、「満足」（「大変満足」と「やや満足」の合計）が約55%であり、半数以上の市民が交通環境に満足している。逆に「不満」（「やや不満」と「大変不満」の合計）の回答は約20%である。

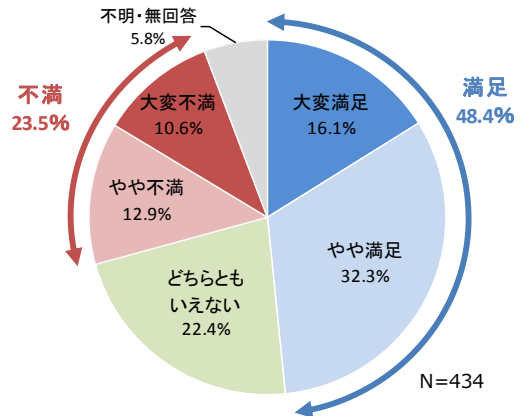
○笠岡市民では、「満足」が5割弱と半数に満たず、「不満」は約24%である。

○性別・年齢別の状況をみると、特に「80歳代以上の女性」において「不満」の割合が高く、何らかの不便を感じていると考えられる。

福山市民



笠岡市民



<性別・年齢別>

福山市民

		合計	満足度					不明・無回答	満足度	
			1 大変満足	2 やや満足	3 どちらともいえない	4 やや不満	5 大変不満		(1+2) 『満足』	(4+5) 『不満』
男性	実数	816	154	319	178	88	52	25	473	140
	%	100.0%	18.9%	39.1%	21.8%	10.8%	6.4%	3.1%	58.0%	17.2%
50歳代以下	実数	352	60	120	91	48	24	9	180	72
	%	100.0%	17.0%	34.1%	25.9%	13.6%	6.8%	2.6%	51.1%	20.5%
60歳代	実数	224	37	94	51	21	15	6	131	36
	%	100.0%	16.5%	42.0%	22.8%	9.4%	6.7%	2.7%	58.5%	16.1%
70歳代	実数	178	45	75	27	13	9	9	120	22
	%	100.0%	25.3%	42.1%	15.2%	7.3%	5.1%	5.1%	67.4%	12.4%
80歳代以上	実数	59	12	29	9	5	3	1	41	8
	%	100.0%	20.3%	49.2%	15.3%	8.5%	5.1%	1.7%	69.5%	13.6%
女性	実数	1,147	198	403	256	160	83	47	601	243
	%	100.0%	17.3%	35.1%	22.3%	13.9%	7.2%	4.1%	52.4%	21.2%
50歳代以下	実数	616	105	205	164	94	38	10	310	132
	%	100.0%	17.0%	33.3%	26.6%	15.3%	6.2%	1.6%	50.3%	21.4%
60歳代	実数	250	44	102	47	32	16	9	146	48
	%	100.0%	17.6%	40.8%	18.8%	12.8%	6.4%	3.6%	58.4%	19.2%
70歳代	実数	194	39	72	28	23	15	17	111	38
	%	100.0%	20.1%	37.1%	14.4%	11.9%	7.7%	8.8%	57.2%	19.6%
80歳代以上	実数	86	10	24	16	11	14	11	34	25
	%	100.0%	11.6%	27.9%	18.6%	12.8%	16.3%	12.8%	39.5%	29.1%

笠岡市民

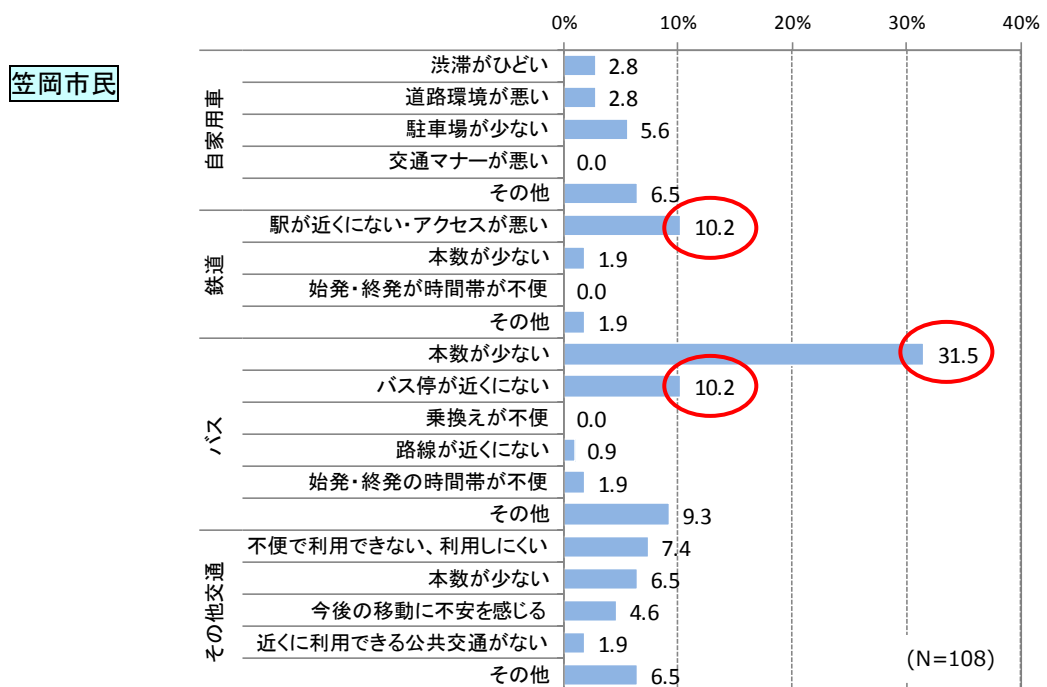
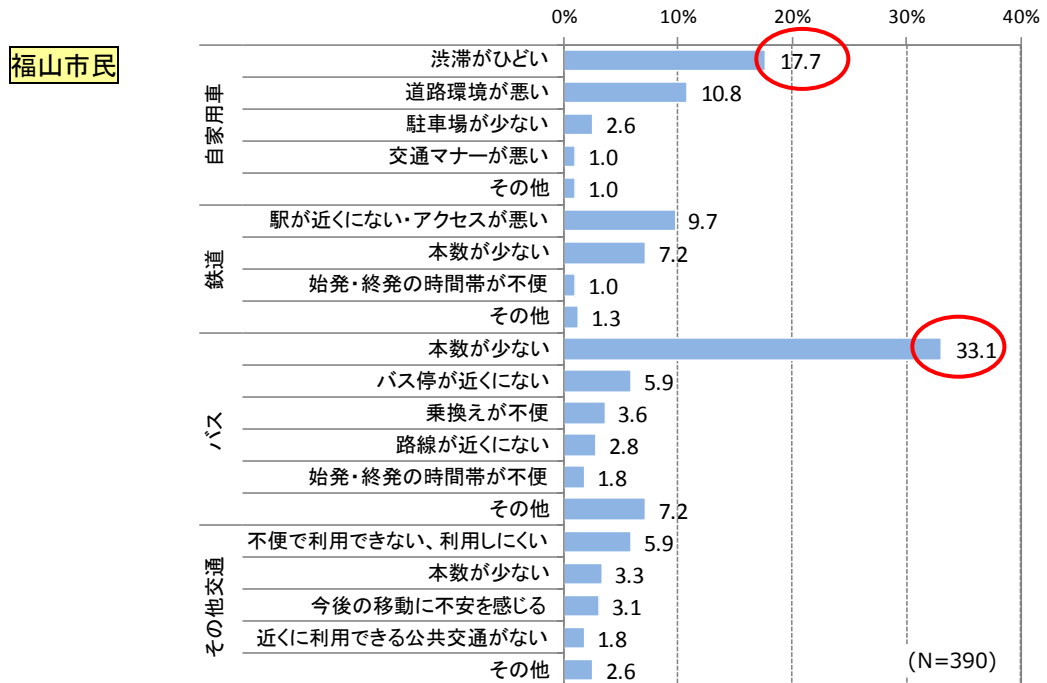
		合計	満足度					不明・無回答	満足度	
			1 大変満足	2 やや満足	3 どちらともいえない	4 やや不満	5 大変不満		(1+2) 『満足』	(4+5) 『不満』
男性	実数	187	31	72	41	22	13	8	103	35
	%	100.0%	16.6%	38.5%	21.9%	11.8%	7.0%	4.3%	55.1%	18.7%
50歳代以下	実数	77	3	34	17	13	8	2	37	21
	%	100.0%	3.9%	44.2%	22.1%	16.9%	10.4%	2.6%	48.1%	27.3%
60歳代	実数	59	17	19	12	3	3	5	36	6
	%	100.0%	28.8%	32.2%	20.3%	5.1%	5.1%	8.5%	61.0%	10.2%
70歳代	実数	32	7	14	8	3	0	0	21	3
	%	100.0%	21.9%	43.8%	25.0%	9.4%	0.0%	0.0%	65.6%	9.4%
80歳代以上	実数	19	4	5	4	3	2	1	9	5
	%	100.0%	21.1%	26.3%	21.1%	15.8%	10.5%	5.3%	47.4%	26.3%
女性	実数	244	39	67	56	33	33	16	106	66
	%	100.0%	16.0%	27.5%	23.0%	13.5%	13.5%	6.6%	43.4%	27.0%
50歳代以下	実数	95	14	30	23	16	10	2	44	26
	%	100.0%	14.7%	31.6%	24.2%	16.8%	10.5%	2.1%	46.3%	27.4%
60歳代	実数	60	13	18	13	7	6	3	31	13
	%	100.0%	21.7%	30.0%	21.7%	11.7%	10.0%	5.0%	51.7%	21.7%
70歳代	実数	50	7	12	12	5	8	6	19	13
	%	100.0%	14.0%	24.0%	24.0%	10.0%	16.0%	12.0%	38.0%	26.0%
80歳代以上	実数	36	5	6	7	5	9	4	11	14
	%	100.0%	13.9%	16.7%	19.4%	13.9%	25.0%	11.1%	30.6%	38.9%

図 移動環境満足度

②不満の理由（自由回答）

○両市民ともに、不満の理由として「バスの本数の少なさ」をあげる意見が最も多い。

○その他の意見としては、福山市民では、「渋滞がひどい」、笠岡市民では「駅が近くにない・アクセスが悪い」と「バス停が近くにない」が多い。



※複数回答

※項目の分類について：

自由回答結果を、内容・キーワードで分類して件数をカウントした。その際、ひとりの意見において複数の内容・キーワードが含まれる場合は、該当するキーワード・項目の全てにカウントしている。（複数回答）

図 不満を感じる理由

3. 各交通モードの満足度など

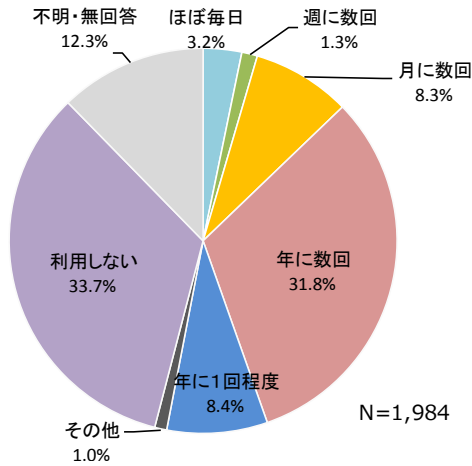
(1) JR

■市民アンケート結果 より

①利用頻度

○「利用しない」を除くと、両市民ともに、「年に数回」利用する市民が多く、定期的に利用している人（「ほぼ毎日」と「週に数回」の合計）は、福山市民で約5%、笠岡市民で約4%である。

福山市民



笠岡市民

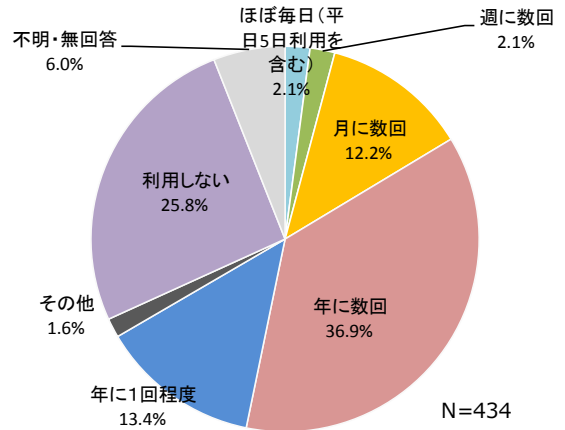


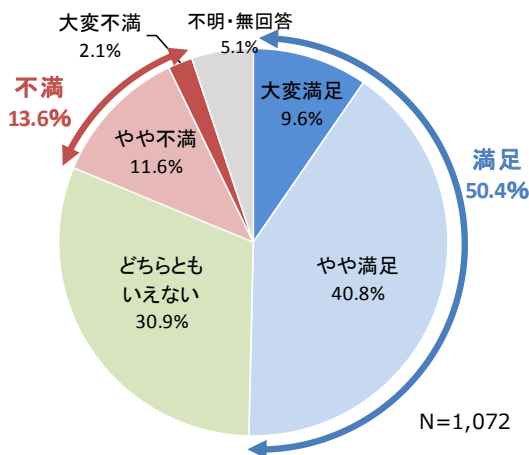
図 市内のJRの利用頻度

②満足度（利用する回答者のみ）

○福山市民では、「満足」が約5割を占め、また「不満」は14%であり、満足度は高いといえる。

○笠岡市民でも、「満足」の回答が過半数を占め、逆に「不満」は約4%と少なく、満足度は高い。

福山市民



笠岡市民

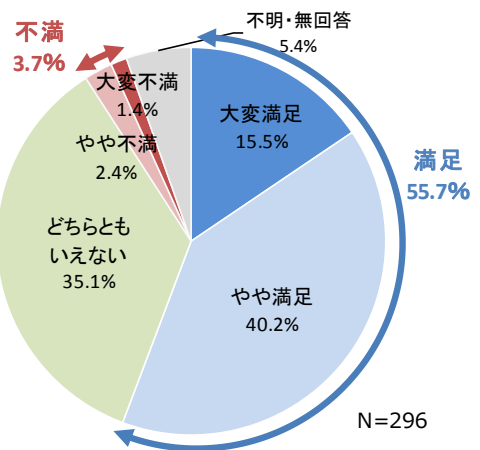
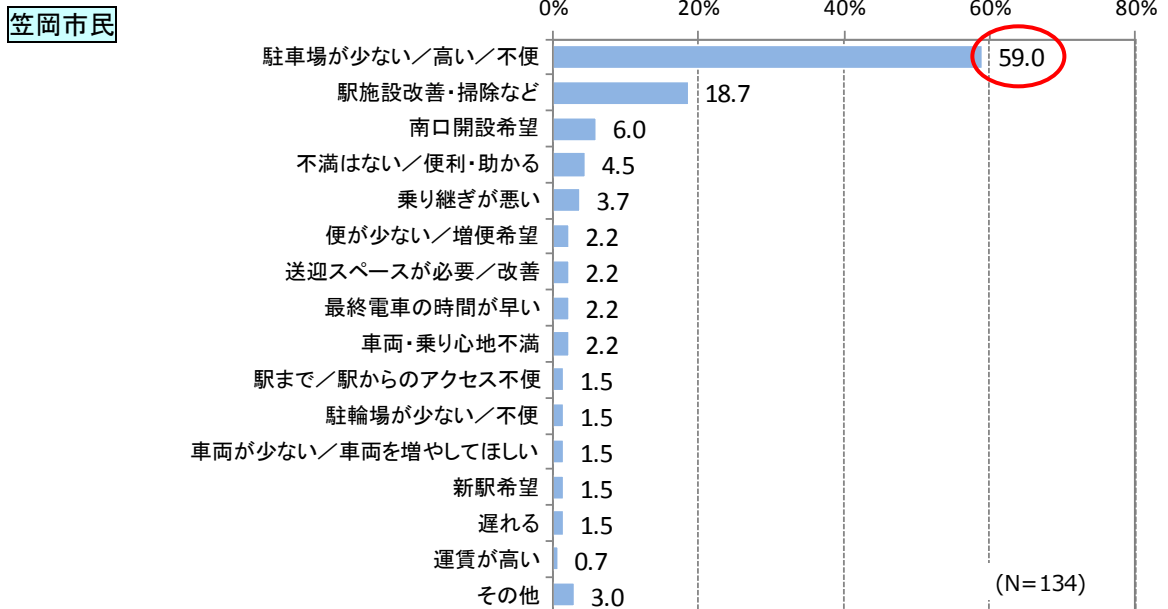
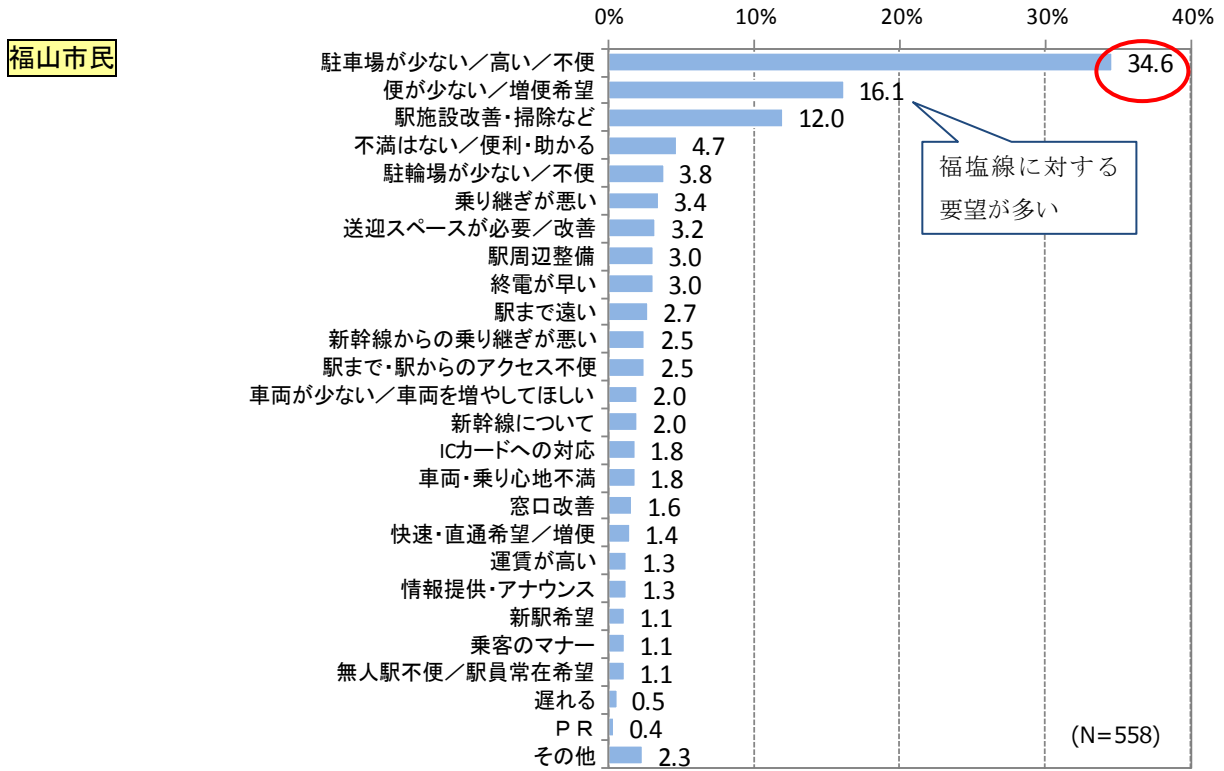


図 市内のJRの満足度

③要望・意見など（自由意見）

○市内のJRへの意見では、両市民ともに「駐車場が少ない」など、駅周辺の駐車場に関する意見が最も多い。

○各市の特徴的な意見としては、福山市民における「増便希望」（福塩線が多い）、笠岡市民における笠岡駅「南口開設希望」等がある。



※複数回答

※利用しない、わからない等の意見は除外

図 市内のJRへの意見

(2) 井原鉄道 ※福山市民にのみ設問

■市民アンケート結果 より

①利用頻度

○「利用しない」の福山市民が大多数を占め、逆に定期的に利用する回答者の割合は非常に小さい。

福山市民

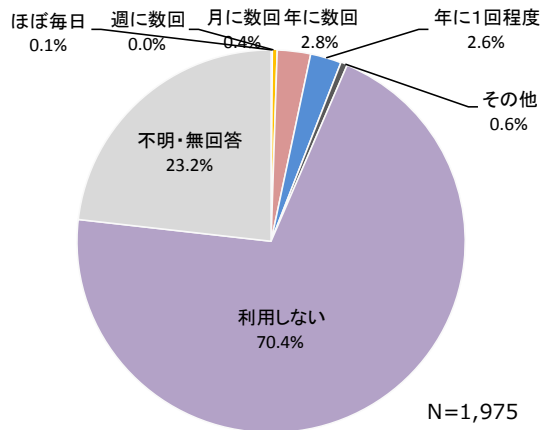


図 井原鉄道の利用頻度

②満足度 (利用する回答者のみ)

○「満足」が約43%、「不満」が約13%となっており、満足度は高いといえる。

福山市民

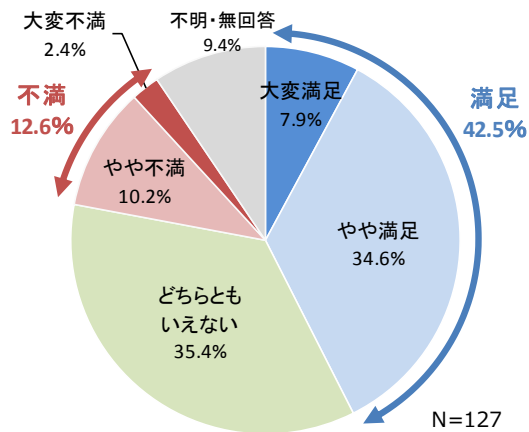
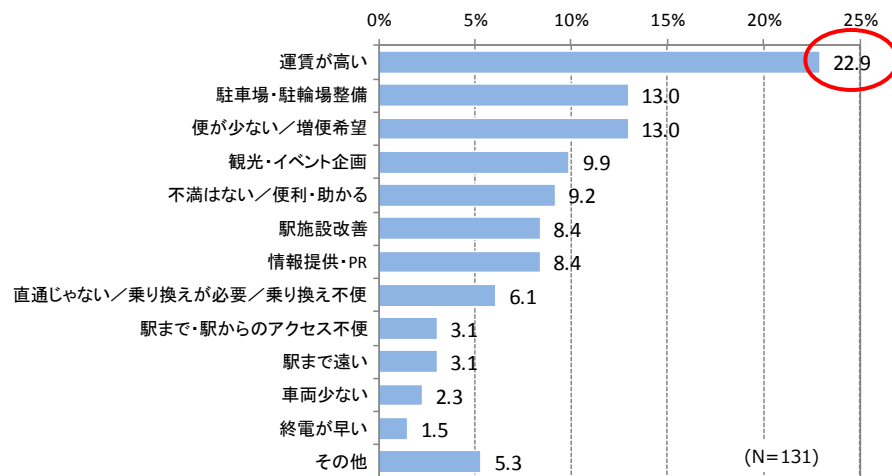


図 井原鉄道の満足度

③要望・意見など (自由意見)

○井原鉄道への意見では、「運賃が高い」という声が多。

福山市民



※複数回答

利用しない、わからない等の意見は除外

図 井原鉄道への意見 (福山市民 (走島町民除く))

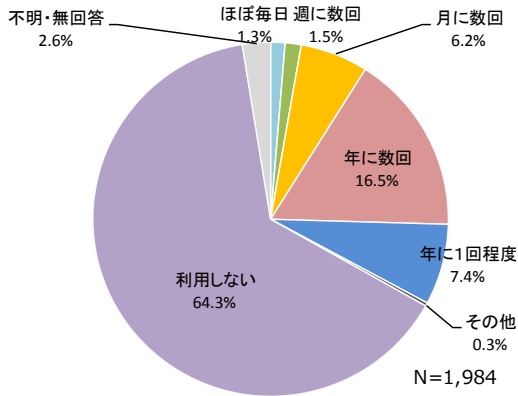
(3) 路線バス

■市民アンケート結果 より

①利用頻度

○両市民ともに「利用しない」の回答が最も多く、福山市民は約64%，笠岡市民は約81%を占める。逆に定期的に利用している人は、福山市民が約3%，笠岡市民が約2%と少ない。

福山市民



笠岡市民

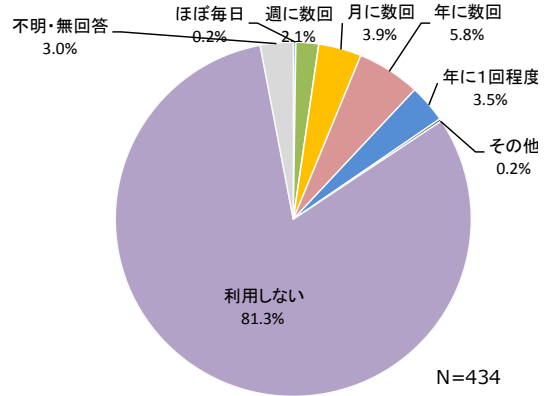


図 市内の路線バス利用頻度

○バスを利用しない理由を聞くと、「クルマなど、他に便利な手段がある」が最も多く、両市民ともに約8割を占める。

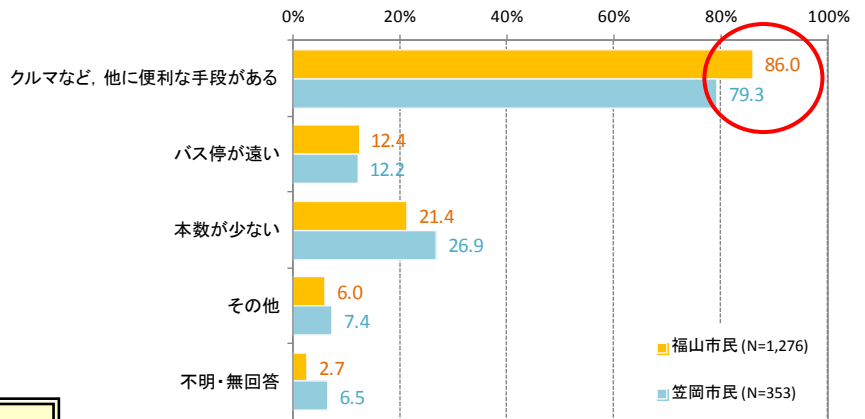
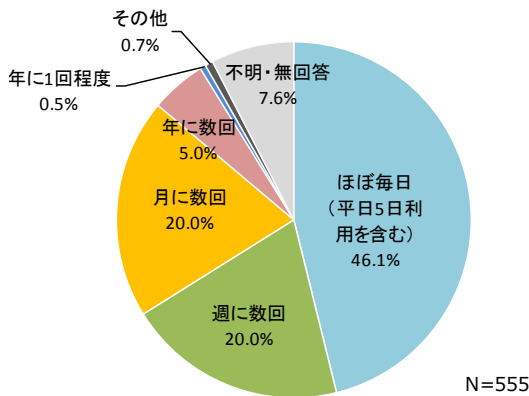


図 バスを利用しない理由

■路線バス利用者アンケート結果 より

○バスの利用者に直接配布したアンケート結果では、「ほぼ毎日」利用する方が、福山駅配布で約46%，笠岡駅配布で約56%と多く、「週に数回」も含めた定期利用者の割合でみると、両者とも約7割を占める。

福山駅配布



笠岡駅配布

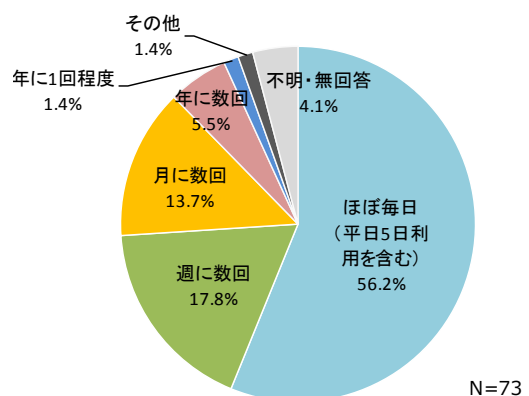


図 路線バスの利用頻度 (利用者アンケート)

②利用目的や利用理由

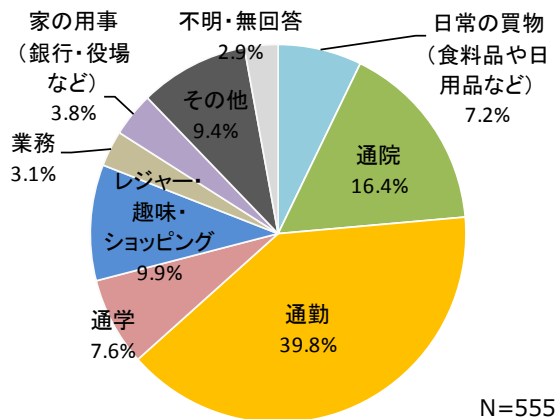
■路線バス利用者アンケート結果 より

<利用目的>

○福山駅配布，笠岡駅配布の両者において「通勤」目的が最も多い。その他としては，福山駅配布では「通院」「レジャー等」が多いが，笠岡駅前では，「通学」「通院」の割合が高い。

○なお，一般の方に比べて，生徒等はアンケート調査を回答されない割合が高いことが想定できる。よって実際の利用では，「通学」目的の割合がさらに大きいと考えられる。

福山駅配布



笠岡駅配布

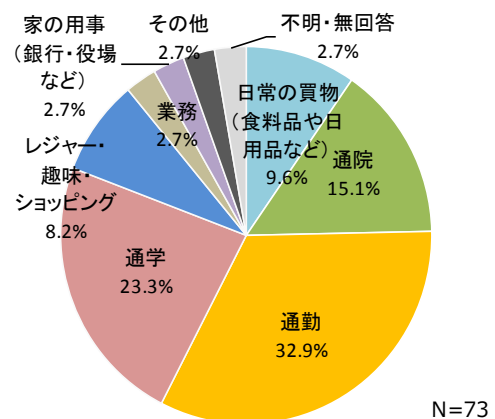


図 移動の目的 (利用者アンケート)

<バスを利用した理由>

○福山駅配布では，「行きたい場所までルートがある」が約5割を占めて最も多く，次いで「バス以外に交通手段がない」，「利用したい時間に運行している」の順となっている。

○笠岡駅では，「バス以外に交通手段がない」が約5割を占めて最も多く，次いで「行きたい場所までルートがある」，「車または免許を有していない」と続く。

○これらより，行動に見合ったバスサービスの提供があるが故に利用した人や，手段選択が限定している人の利用が多いと考えられる。

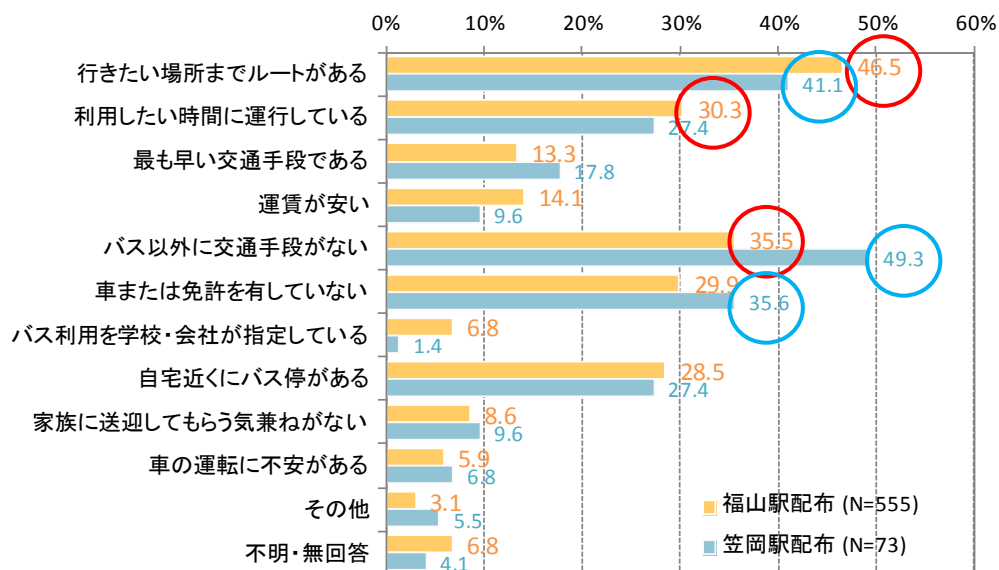


図 路線バスを利用した理由 (利用者アンケート)

③満足度（利用する回答者のみ）

○福山市民では、「不満」が約4割で、「満足」の約2割を上回っている。

○さらに笠岡市民では、「不満」の回答が半数を占めており、逆に「満足」は約16%と少ない。

福山市民

笠岡市民

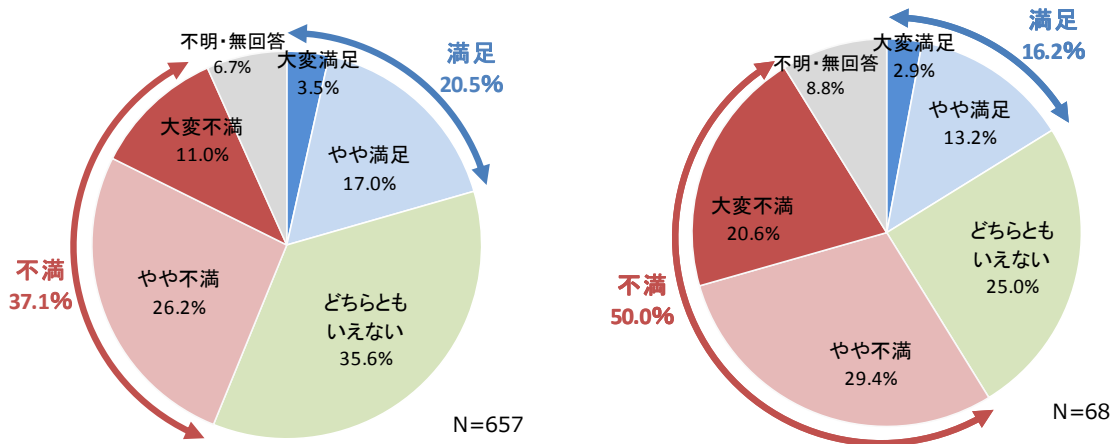


図 福山市内・笠岡市内の路線バスの満足度

■路線バス利用者アンケート結果 より

○一方で、利用者アンケート結果によると、「満足」の割合が「不満」を上回っており、満足度が高い結果になっている。

○よって、定期的にバスを利用している方にとっては、比較的利便性の高い移動手段になっていると言える。

福山駅配布

笠岡駅配布

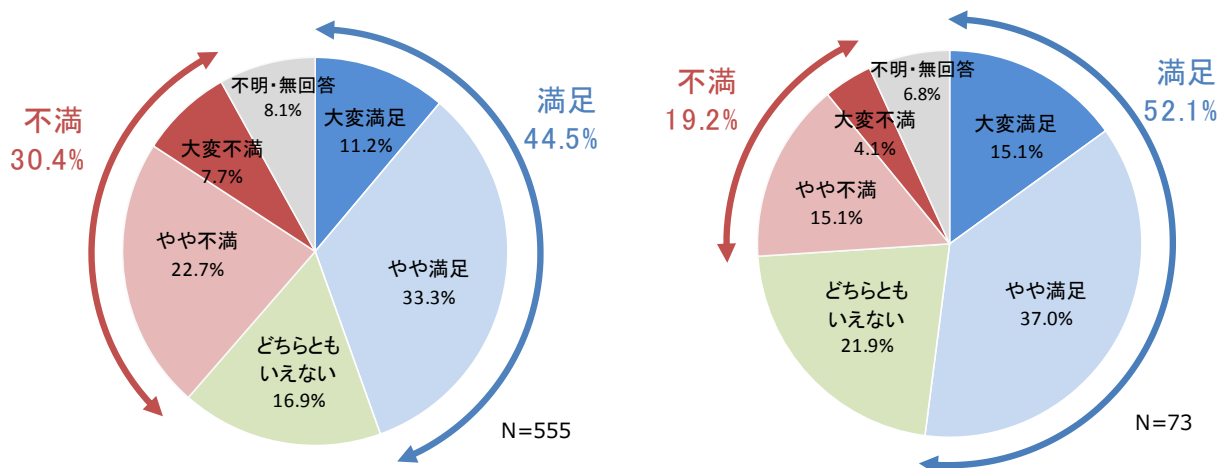
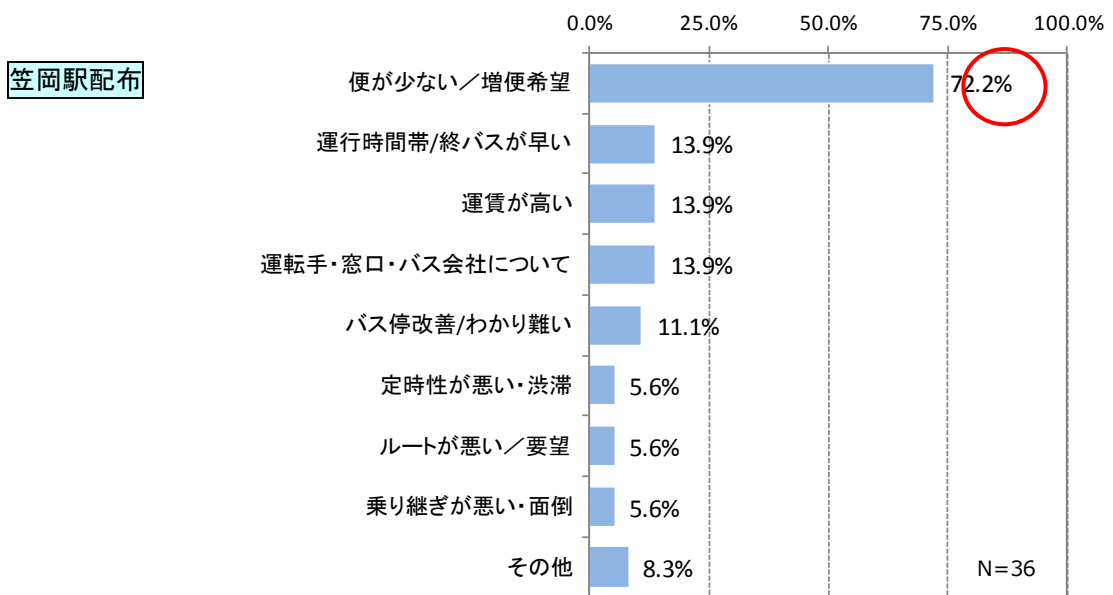
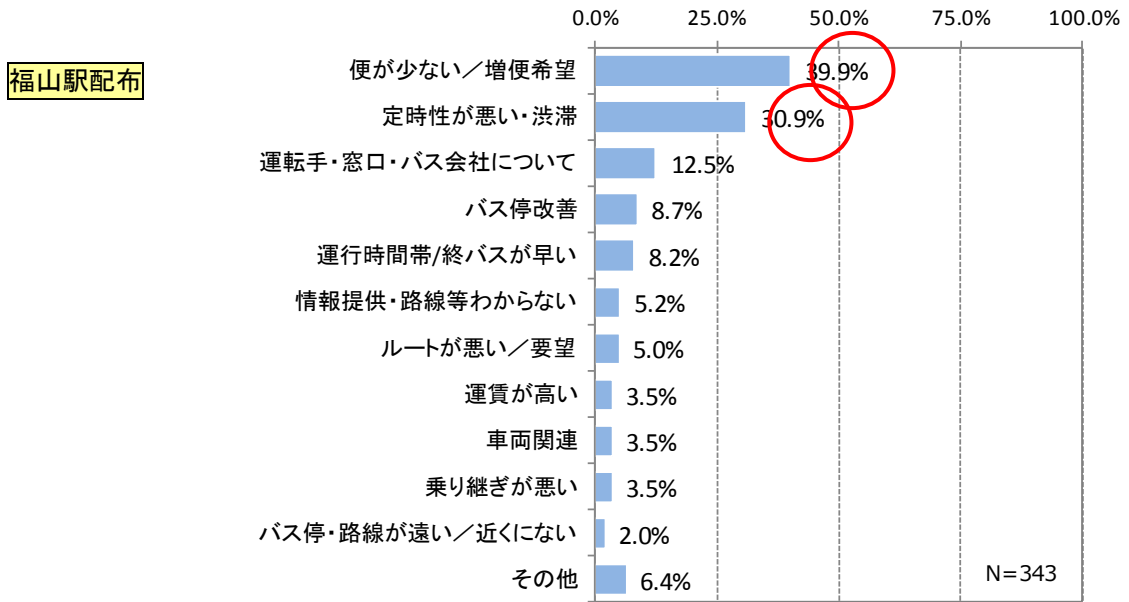


図 路線バスの満足度（利用者アンケート）

④不満に思うこと・要望など（自由意見）

■路線バス利用者アンケート結果 より

- 両駅ともに、便が少ないなどの「増便」に関する要望が最も多く、特に笠岡駅配布では約7割を占める。
- その他の意見では、福山駅配布において、「定時性の悪さや渋滞問題」に関する意見が多いことが特徴的である。



※複数回答

図 不満に思う内容や改善要望（利用者アンケート）

- なお、バスを利用しない回答者を含む市民アンケート結果でも、上図と同様の項目が挙げられているが、特に「便数が少ない/増便希望」に関する意見が、他の意見に比べて極端に多くなっている。

(4) 乗合タクシー

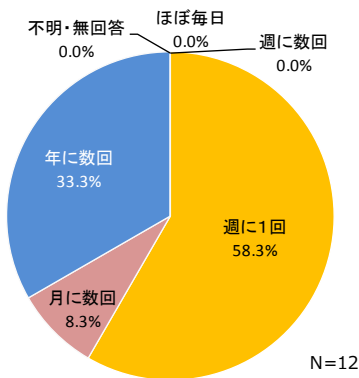
①利用頻度

○福山市・竹尋学区では、「週に1回」が約6割と最も多く、次いで「年に数回」が約3割となっている。また、中条学区では、「週に3回」と「週に1回」とともに約3割である。

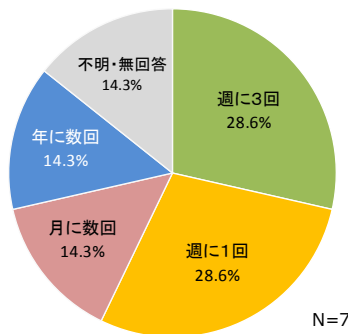
○笠岡市では、利用頻度は少なく、「月に数回」が約8割を占める。

福山市

【竹尋】



【中条】



笠岡市

【大島】

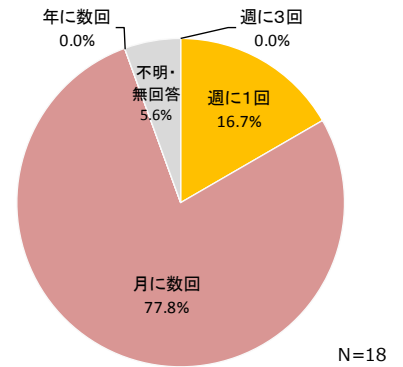


図 利用頻度（利用者アンケート）

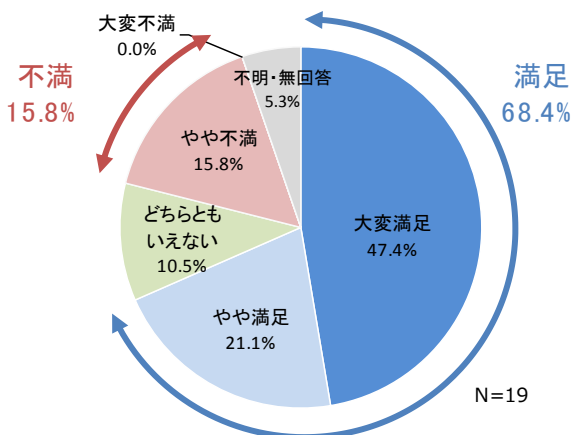
②満足度

○福山市の竹尋学区，中条学区を合わせた満足度では、「満足」が約7割を占める。

また笠岡市の大島地区では、「満足」が約8割を占める。

○これらより、利用される方にとって、満足度は比較的高い手段となっている。

福山市



笠岡市

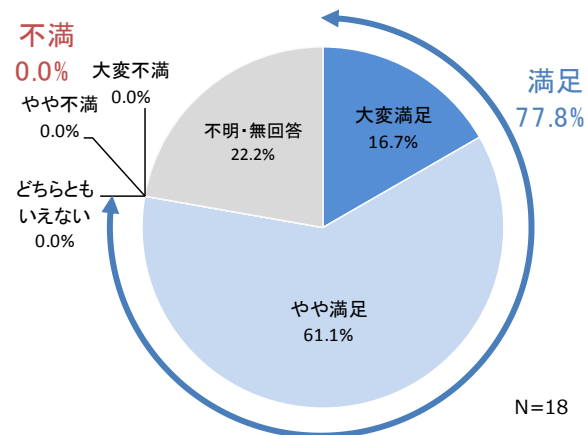


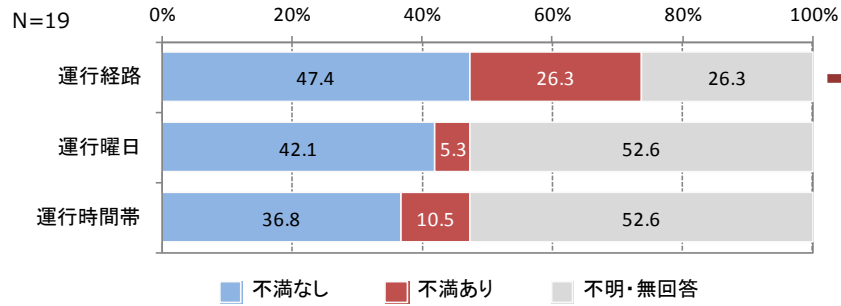
図 満足度（利用者アンケート）

③サービス内容の不満

○福山市の乗合タクシーでは、運行経路において約3割の方が不満を感じており、サンプル数が少ないものの、竹尋学区の利用者の不満が多い。

○笠岡市では、運行曜日の不満が比較的多く、2割弱を占める。

福山市



		運行経路			
		合計	1 不満なし	2 不満あり	不明・無回答
福山市計	実数	19	9	5	5
	%	100.0%	47.4%	26.3%	26.3%
竹尋学区	実数	12	7	4	1
	%	100.0%	58.3%	33.3%	8.3%
中条学区	実数	7	2	1	4
	%	100.0%	28.6%	14.3%	57.1%

笠岡市

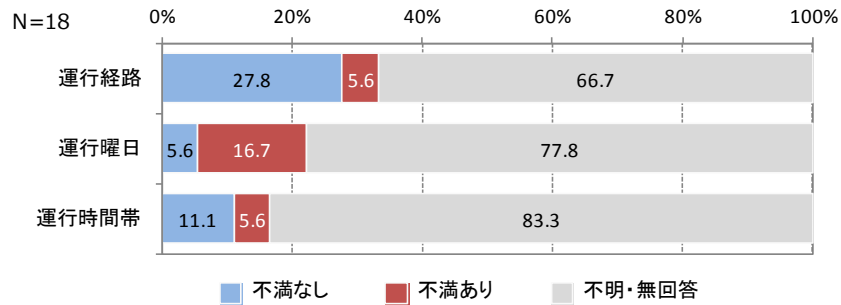


図 サービス内容の不満の有無（利用者アンケート）

④要望・意見など（自由意見）

○福山市では、運行曜日の増加やバス停位置の変更、笠岡市では、便数が少ないという意見が聞かれた。

<主な意見（自由意見より）>

福山市			
【竹尋学区】	・火、木曜日の停留所を増やして頂けたら有り難い。		
	・年をとると歩くのがしんどいので近くのバス停にしてほしい。		
	・乗合タクシーを利用して大変助かります。今後も継続してほしいです。		
【中条学区】	・通院日と乗合タクシーの日が合わない。		
	・フジグランから福山整形病院まで歩くのがつらい。停留所までが間が遠い。		
	・運転手はやさしく親切にしてくれます。		
笠岡市			
【大島地区】	・便数が少ない。		
	・出来れば月曜を一日増やしてほしい。		など

⑤今後の利用の妨げになる要因

○福山市では、「予約が面倒」が約3割と最も多く、次いで「停留所までの歩行が辛い」が26.3%と続く。

○笠岡市では、「停留所までの歩行が辛い」が約3割と最も多い。

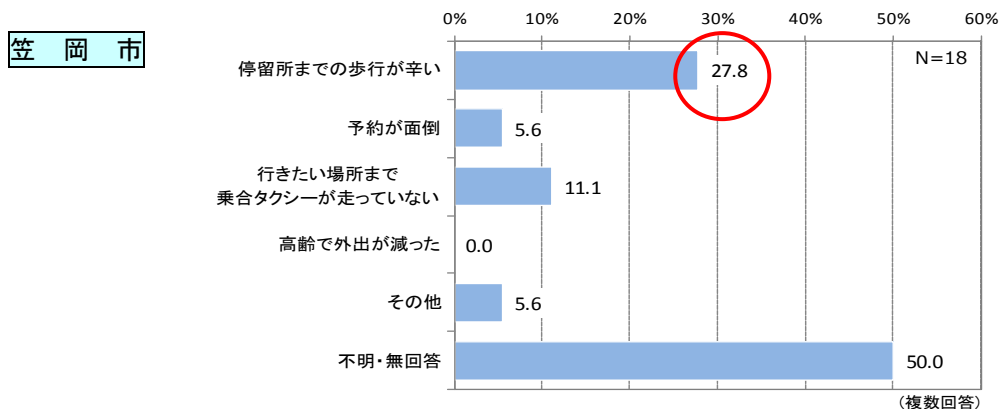
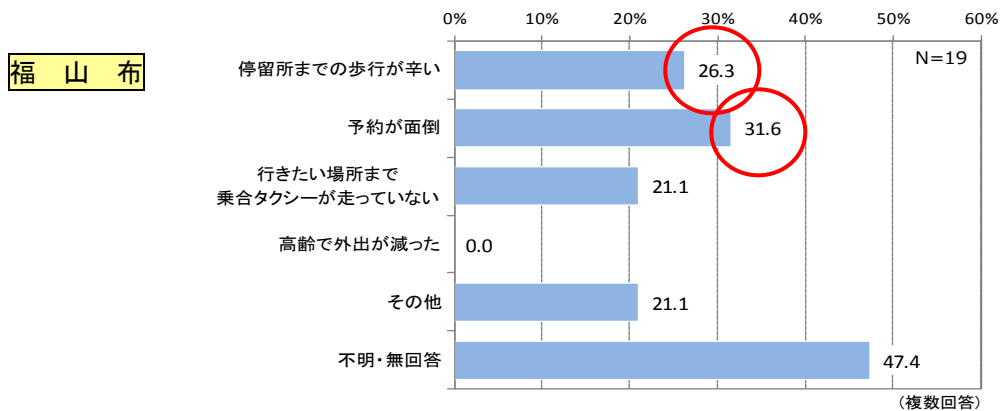


図 今後の利用の妨げになる要因（利用者アンケート）

(5) 航路（走島航路，笠岡諸島航路）

■市民アンケート結果より

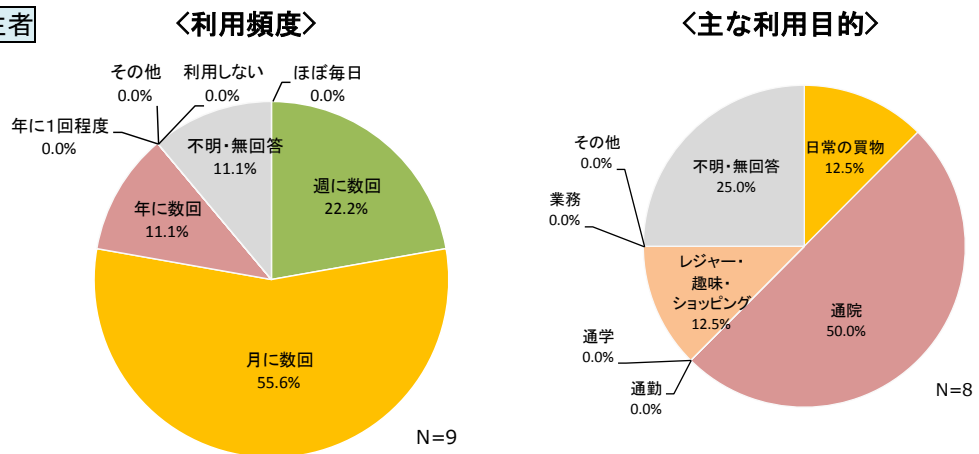
①利用頻度

○サンプル数が少ないものの、福山市走島居住者における航路の利用頻度は「月に数回」が最も多く約56%を占めるが、「週に数回」といった定期的な利用も約2割を占める。

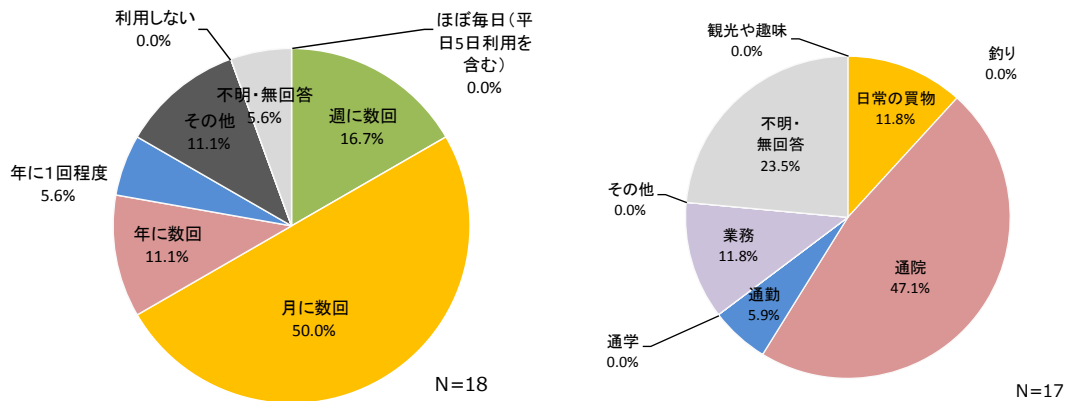
○笠岡市島しょ部居住者の航路の利用でも、「月に数回」が半数を占めて最も多く、次いで「週に数回」が約17%である。

なお、笠岡市内の島しょ部以外の居住者では、航路を利用する割合は2割弱程度であるが、その頻度は少なく、主な利用目的では「観光や趣味」が多い。

福山市走島居住者



笠岡市島しょ部居住者



笠岡市島しょ部以外

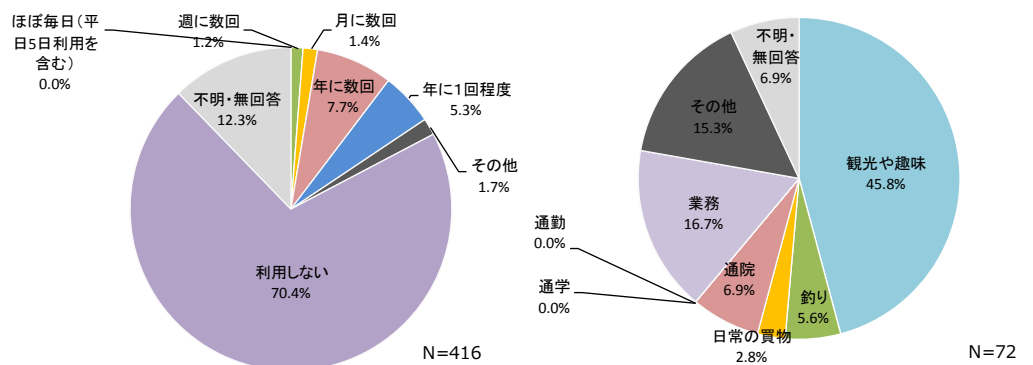


図 福山市内・笠岡市内の航路利用頻度と目的

②満足度（利用する回答者のみ）

○福山市走島居住者では、「満足」の回答が約5割、「不満」が約25%で、比較的満足度は高い。

○笠岡市島しょ部居住者では、「満足」「不満」がともに2割弱を占める。

福山市走島居住者

笠岡市島しょ部居住者

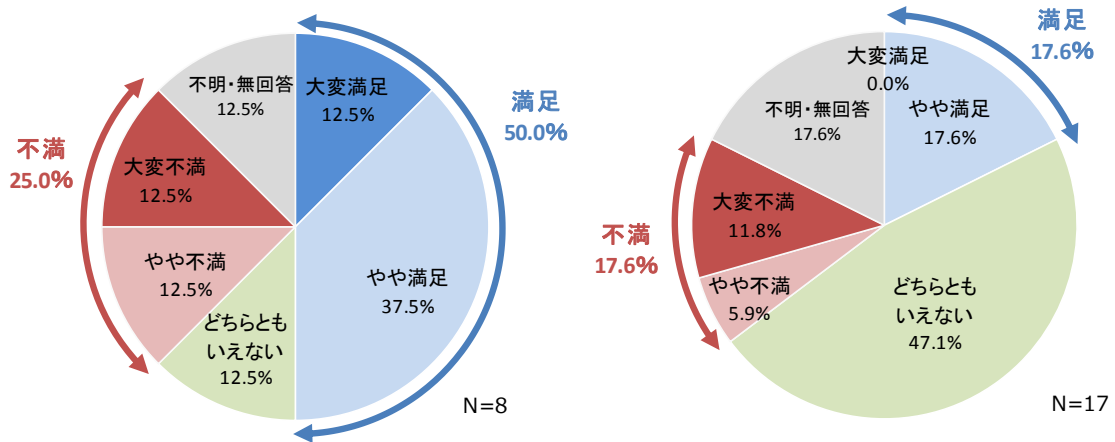


図 笠岡市内の航路の満足度

③要望・意見など（自由意見） ※笠岡諸島航路のみ

○笠岡諸島航路への意見では、利用促進に向けた「観光・企画イベント」に関する意見が最も多く、その他では「PR／情報発信」関連や、港湾付近への「駐車場・駐輪場整備」、「増便要望」などの意見が挙げられている。

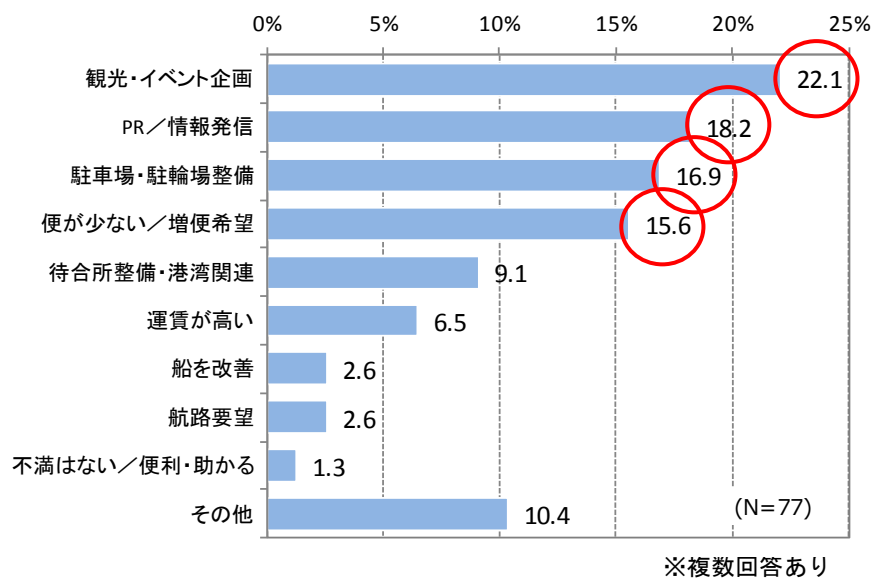


図 笠岡諸島航路への意見

○なお、走島航路への意見としては4件の回答があり、うち2件が増便要望、残り2件がダイヤ関連の意見である。

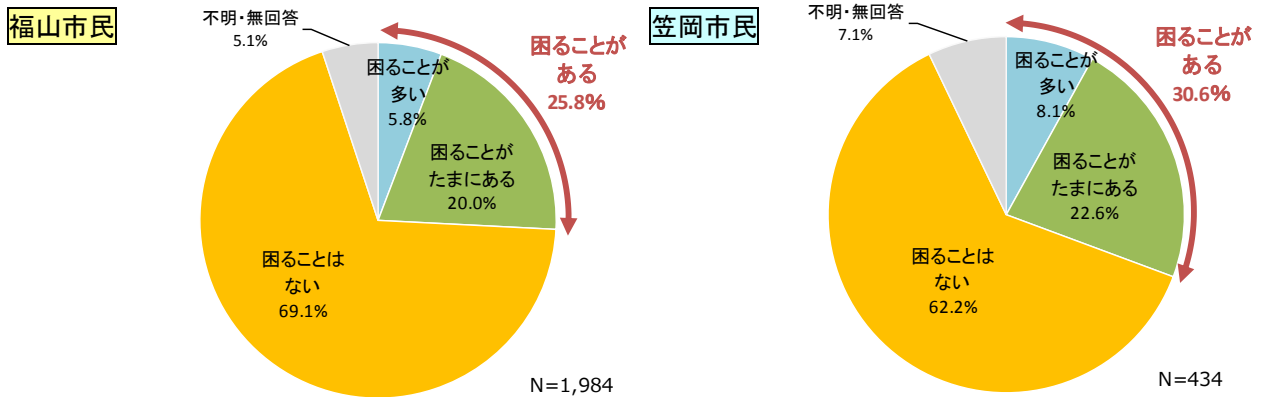
4. 移動が不便な行き先

■市民アンケート結果より

①外出する時に交通手段がなくて困ること

○両市民ともに、「困ることはない」が多く6割を超えているが、困ることがある人（「困ることが多い」と「困ることがたまにある」の合計）の割合は、福山市民では26%，笠岡市民では31%と、約3割の人が外出時の交通手段に困っている。

○性別では女性の方が男性よりも移動で困る人が多く、また年齢別では70歳以上において困る人が多くなっている。



<性別・年齢別>

福山市民

		合計	1	2	3	不明・無回答	(1+2) 『ある』
			困ることが多い	困ることがたまにある	困ることはない		
男性	実数	816	34	141	602	39	175
	%	100.0%	4.2%	17.3%	73.8%	4.8%	21.4%
50歳代以下	実数	352	15	68	258	11	83
	%	100.0%	4.3%	19.3%	73.3%	3.1%	23.6%
60歳代	実数	224	7	38	171	8	45
	%	100.0%	3.1%	17.0%	76.3%	3.6%	20.1%
70歳代	実数	178	6	25	139	8	31
	%	100.0%	3.4%	14.0%	78.1%	4.5%	17.4%
80歳代以上	実数	59	6	8	33	12	14
	%	100.0%	10.2%	13.6%	55.9%	20.3%	23.7%
女性	実数	1,147	80	253	753	61	333
	%	100.0%	7.0%	22.1%	65.6%	5.3%	29.0%
50歳代以下	実数	616	23	134	449	10	157
	%	100.0%	3.7%	21.8%	72.9%	1.6%	25.5%
60歳代	実数	250	13	49	172	16	62
	%	100.0%	5.2%	19.6%	68.8%	6.4%	24.8%
70歳代	実数	194	25	51	99	19	76
	%	100.0%	12.9%	26.3%	51.0%	9.8%	39.2%
80歳代以上	実数	86	19	19	32	16	38
	%	100.0%	22.1%	22.1%	37.2%	18.6%	44.2%

笠岡市民

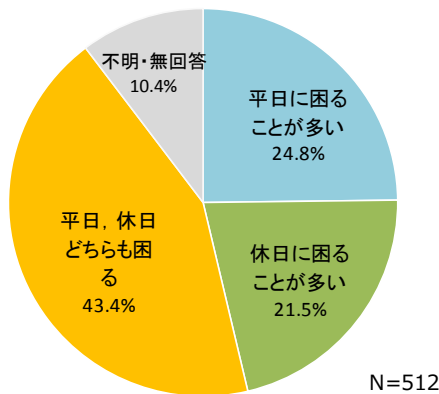
		合計	1	2	3	不明・無回答	(1+2) 『ある』
			困ることが多い	困ることがたまにある	困ることはない		
男性	実数	187	4	40	130	13	44
	%	100.0%	2.1%	21.4%	69.5%	7.0%	23.5%
50歳代以下	実数	77	1	19	53	4	20
	%	100.0%	1.3%	24.7%	68.8%	5.2%	26.0%
60歳代	実数	59	1	12	43	3	13
	%	100.0%	1.7%	20.3%	72.9%	5.1%	22.0%
70歳代	実数	32	0	4	26	2	4
	%	100.0%	0.0%	12.5%	81.3%	6.3%	12.5%
80歳代以上	実数	19	2	5	8	4	7
	%	100.0%	10.5%	26.3%	42.1%	21.1%	36.8%
女性	実数	244	31	56	139	18	87
	%	100.0%	12.7%	23.0%	57.0%	7.4%	35.7%
50歳代以下	実数	95	8	21	66	0	29
	%	100.0%	8.4%	22.1%	69.5%	0.0%	30.5%
60歳代	実数	60	2	11	43	4	13
	%	100.0%	3.3%	18.3%	71.7%	6.7%	21.7%
70歳代	実数	50	9	16	20	5	25
	%	100.0%	18.0%	32.0%	40.0%	10.0%	50.0%
80歳代以上	実数	36	12	8	9	7	20
	%	100.0%	33.3%	22.2%	25.0%	19.4%	55.6%

図 外出する時に交通手段がなくて困ることの有無

②移動で困ることが多い曜日（平日・休日）

○両市民ともに「平日、休日どちらも困る」が最も多く4割を超えている。

福山市民



笠岡市民

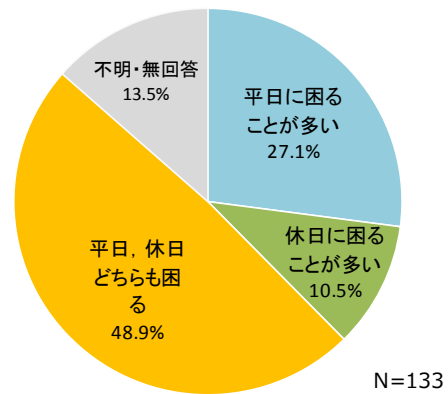


図 移動で困ることが多い曜日（平日・休日）

③移動で困る場合の行き先（施設の種類の）

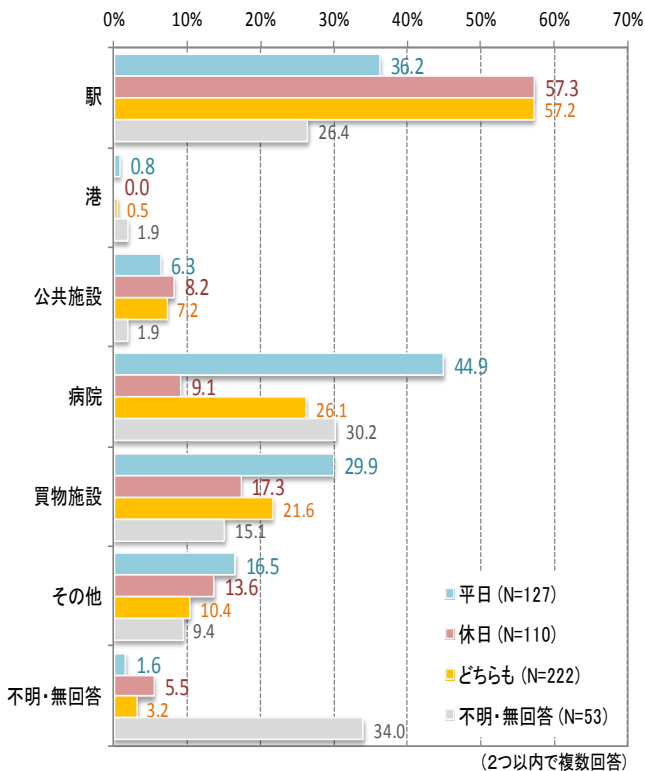
○福山市民では、訪問に困る施設として「駅」を挙げる回答が最も多く、次いで平日の「病院」の回答が多い。

具体的な施設として、「駅」では福山駅、「病院」では福山市民病院などの回答が挙がっている。

○笠岡市民でも、「駅」や「病院」の回答が多いが、休日の「買物施設」の回答も比較的多い。

具体的な施設では、「駅」では笠岡駅、「病院」では笠岡第一病院、笠岡市立市民病院などの回答が挙がっている。

福山市民



笠岡市民

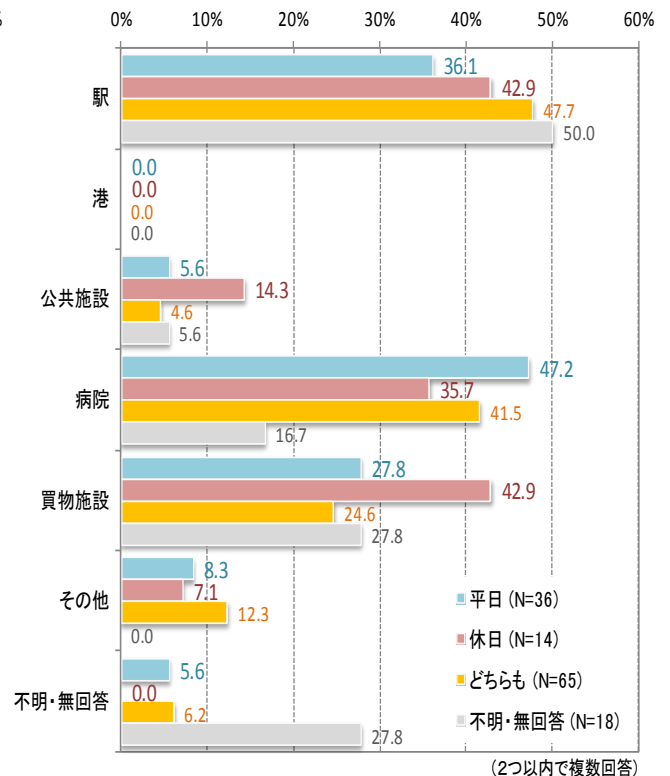
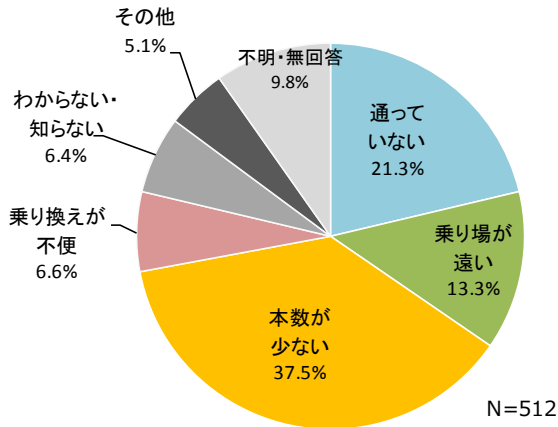


図 移動に困る行き先（施設の種類の）

④公共交通で訪問する場合の問題点

○移動に困る施設まで、公共交通で訪問する場合の問題点としては、両市民ともに、バス等はあるが「本数が少ない」とする回答が最も多く、約4割を占める。次いで「路線が通っていない」、「乗り場が遠い」の順となっている。

福山市民



笠岡市民

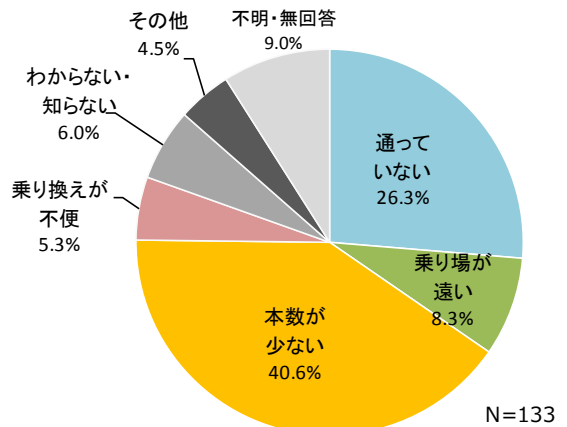


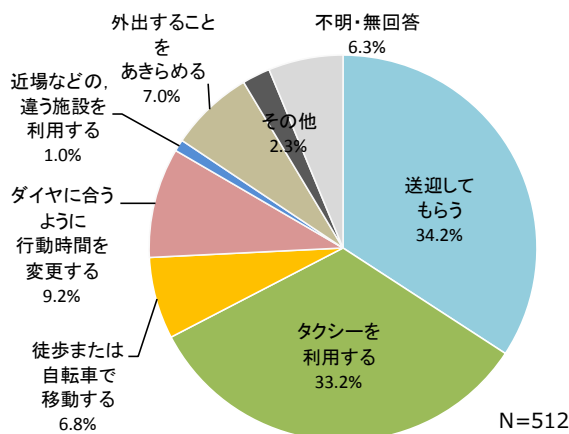
図 公共交通で行く時の問題点

⑤移動に困る場合の対処方法

○両市民ともに「送迎してもらう」、「タクシーを利用する」を合わせて約7割を占めるなど、多くの市民は何らかの移動手段で目的地を訪れていることがうかがえる。

○ただし、福山市民で約7%、笠岡市民で約5%は「外出をあきらめる」と回答している。

福山市民



笠岡市民

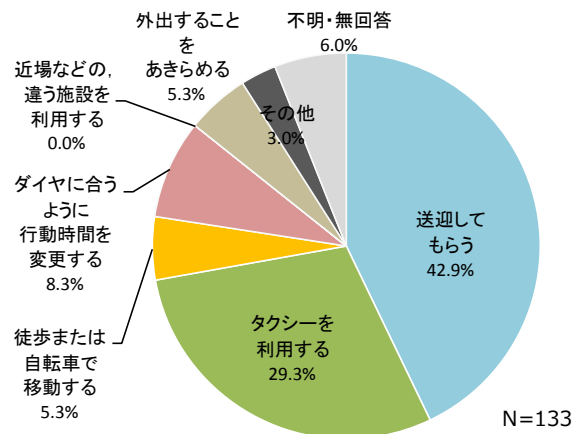


図 移動に困る場合の対処方法

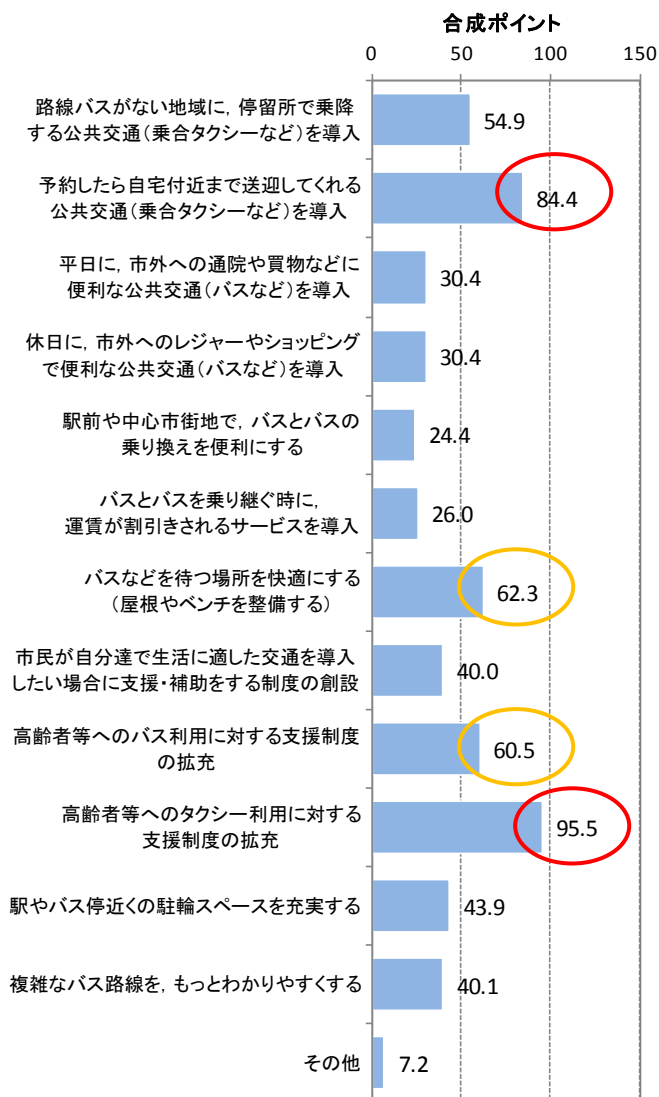
5. 公共交通の取組について

■市民アンケート結果より

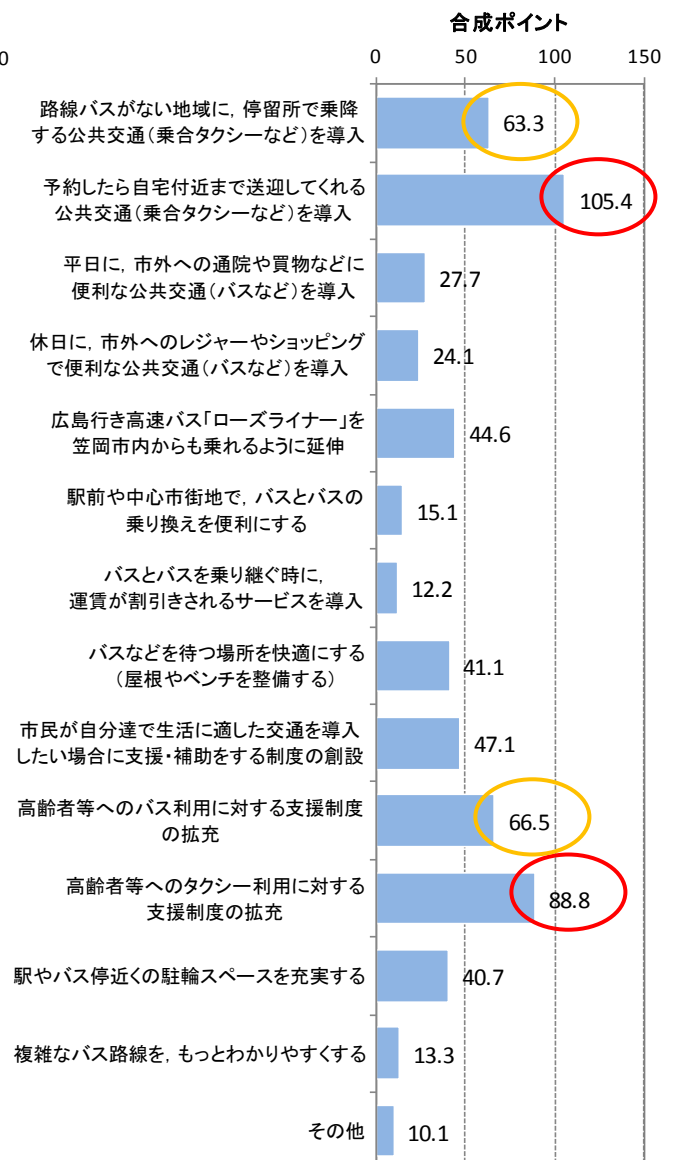
①重要と思う公共交通の取組

- 福山市民，笠岡市民ともに，「高齢者等へのタクシー利用に対する支援制度の拡充」，「予約したら自宅付近まで送迎してくれる公共交通を導入」が上位に位置する。
- その他では，「高齢者等へのバス利用に対する支援制度の拡充」，「路線バスがない地域に，停留所で乗降する公共交通を導入」，「バスなどを待つ場所を快適にする」が多い。
- これらより，高齢者に対する移動支援への要望や，自宅近くへの新たな公共交通の導入等のニーズが高いことがわかる。

福山市民



笠岡市民



※合成ポイント算出方法：

重要と思う「第1位」，「第2位」，「第3位」の取組の(不明・無回答を除いた)構成比(×100)に対して，「第1位」を3ポイント，「第2位」を2ポイント，「第3位」を1ポイントとして，合成ポイントを算出。

図 重要と思う公共交通の取組

②要望や利用促進のアイデアなど（自由意見）

- 福山市民では、地域への新しい「小型バス・乗合タクシー」の導入、「運賃割引」、「路線見直し」などを求める意見などが挙がっている。
- 笠岡市民でも、地域への新しい「小型バス・乗合タクシー」の導入が最も多く、第2位で「バス増便」に関する意見が挙がっている。

表 要望や利用促進のアイデアなど

福山市民

順位	内容・キーワード	件数	構成比(%)
1	小型バス・乗合タクシー	67	10.6
2	運賃が高い、運賃割引	61	9.7
3	路線導入・見直し	56	8.9
4	バス増便	53	8.4
5	バス車両（小型化・低床・車内他）	43	6.8
6	自宅付近まで・フリー乗降	42	6.6
7	情報（路線図・システム等）	42	6.6
8	市の補助・助成など	39	6.2
9	買物・通院への手段	36	5.7
10	駐輪場・駐車場整備	35	5.5

笠岡市民

順位	内容・キーワード	件数	構成比(%)
1	小型バス・乗合タクシー	24	18.9
2	バス増便	20	15.7
3	運賃が高い、運賃割引	17	13.4
4	自宅付近まで・フリー乗降	16	12.6
5	バス車両（小型化・低床・車内他）	10	7.9
6	買物・通院への手段	10	7.9
7	市の補助・助成など	8	6.3
8	路線導入・見直し	6	4.7
9	駐輪場・駐車場整備	6	4.7
10	ポイント・商店等連携	5	3.9

※複数回答

6. 高齢者の移動支援のアイデアなど

■民生委員児童委員
アンケート結果 より

- 民生委員児童委員から、各地域（自宅付近）と病院・買物先とを結ぶような小型車両を用いた交通システムの導入など、多様な意見・アイデア等が挙がっている。
- 福祉関連の意見や、また住民主導で移動を守る取り組み（ボランティア，共助）に関する意見も聞かれている。

<主な意見（自由意見より）>

福山市

- ・既存バスの便数の充実。
- ・「まわローズ」のコースや地域を広げ、市民が利用しやすくする。
- ・学区（公民館）等から、スーパー、病院のコースでまわる定期バス（マイクロ・低床）の開設、又はボランティア、外出支援サービス。
- ・ドア to ドア、安価、自由度の高い移手段。利用者が登録し、パスポート発行。利用者センターに連絡。その時間帯での利用者宅を順次廻って目的地へ向かう。
- ・タクシー割引制度。移動距離によって割引率を調整。
- ・お出かけ乗車券のサービス向上。（75才以上の全員にバスの無料パス券を支給するなど）
- ・福山市高齢者おでかけ支援事業の充実。
- ・福祉タクシー、福祉施設の支援サービスの充実。
- ・自宅訪問介護を充実させる。その中で会話をしながら買物等日常生活を手助け。
- ・小規模多機能サービス付高齢者向け住宅を利用する。
- ・地域（町内会）毎のボランティア、地域内での協力、声かけが必要。
- ・「支える側・支えられる側」という垣根を取り払い、自助・互助・共助の仕組みづくり。（移動や体力がいる事は若い人が支え、高齢者はできる事（縫い物、直し物や料理）などをボランティアとして活動）

など

笠岡市

- ・路線バスの便数の充実。
- ・JR笠岡駅前より病院、スーパー等を巡回する小型バスの運行。
- ・タクシーの様に、乗る人の行き先を聞いて、門先まで送迎できるようなシステムの構築。
- ・既存のデマンドタクシーの制約（時間、回数、経済的負担、行き先 etc.）に対応した改善。地域ニーズを踏まえて、まちづくり協議会等が協力し、利便性の向上に努める。
- ・移動販売車の運行。
- ・有料ボランティアによる送迎車。
- ・月に一回の往診。
- ・病院に通う時など付き添い。（必要な人が今後増えると思う）

など